

## 逗子市の高齢者人口

平成2年1月1日現在

	逗子	桜山	沼間	池子	山の根	久木	小坪	新宿	合計
65～69歳	337	526	463	280	181	482	426	149	2,844
70～74歳	286	410	347	200	130	314	352	108	2,147
75～79歳	254	338	231	138	104	249	284	97	1,695
80～84歳	153	209	158	100	69	126	193	80	1,088
85～89歳	60	104	76	45	42	76	86	29	518
90～94歳	31	25	26	17	4	21	18	9	151
95～99歳	4	2	3	3	3	2	1		18
100～104歳	1			1					2
105～109歳	1								1
合計	1,127	1,614	1,304	784	533	1,270	1,360	472	8,464

(資料：市総務部企画課)

## 逗子市、宅地造成一覽表

逗子市役所調べ 平成2年2月

とき(開始)	名 称	規 模	戸 数
S39	亀が岡	155,633 m <sup>2</sup>	630
43	南が丘	62,280	184
44	葉 桜	439,772(含む葉山分)	1,081(含む葉山)
43	アザリエⅠ	117,000	270
45	アザリエⅡ	138,000	157
46	アザリエⅢ	32,000	67
46	逗子鎌倉ハイランド	532,768(逗子分)	1,234(逗子分)
47	逗子マリーナ	159,810	8棟(1,388戸)
47	イトーピア	125,000(含む葉山分)	建設進行中
61	東逗子ハイツ	41,000	187
49	グリーンヒル	176,000	411
42	披露山庭園住宅Ⅰ	182,000	104
43	披露山庭園住宅Ⅱ	70,000	85
59	披露山庭園住宅Ⅲ	7,500	10
現在進行中	リクルートコスモス小坪	31,000	102

### ◎参考

逗子市の高齢化は進み、65歳以上と、全市人口を比較すると14.9%を占め、60歳以上では5人に1人の割合となる。

一昨年の“かめがおか”速報での調べでは、小坪1丁目は50～59歳が17.2%を占め、この割合は全市よりも3%高かった。

## 逗子・小坪1丁目の人口

歳	逗子市人	構成比 %	小坪一丁目人	構成比 %
0～9	5,242	9.0	219	7.3
10～19	8,802	15.1	527	17.5
20～29	7,709	13.2	413	13.8
30～39	7,427	12.8	319	10.6
40～49	8,995	15.4	472	15.7
50～59	8,698	14.9	515	17.2
60～69	6,070	10.4	294	9.8
70～79	3,783	6.5	185	6.2
80～89	1,383	2.4	56	1.9
90～	131	0.2	2	0.06
計	58,240		3,002	

逗子市 昭和63年1月調べ

(かめがおか速報1988.12.より)



労信販ニュース N24  
住宅特集号

（詳細は公簿より実態を参照）

# 逗子団地

## 申込案内

東京労働者信販生活協同組合  
〒220 逗子市小坪1丁目  
電話 0462-44371 44372 44373

募集当時のパンフレットの表紙

# 逗子市：人口・世帯数推移

逗子市役所調べ  
毎年10月1日

年	逗子市		小坪		小坪1丁目		年	逗子市		小坪		小坪1丁目	
	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯		人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯
昭和40	43,211	11,517	4,106	975			昭和53	58,493	18,274	8,586	2,455		
41	43,922	11,744					54	58,485	18,522	8,622	2,505		
42	44,366	12,048					55	58,481	18,280	8,590	2,462		
43	45,257	12,377					56	58,189	18,481	8,621	2,492	2,952	869
44	46,308	12,765					57	58,041	18,585	8,750	2,574	2,983	886
45	48,242	13,788	6,412	1,647			58	57,928	18,806	8,695	2,601	2,958	891
46	50,826	14,702	6,647	1,724			59	57,874	18,981	8,703	2,649	2,958	898
47	52,273	15,498	6,869	1,920			60	57,656	18,690	8,623	2,646	2,939	890
48	53,881	16,002	7,420	2,003			61	57,583	18,845	8,627	2,680	2,964	898
49	55,323	16,628	7,768	2,123			62	57,558	18,998	8,751	2,740	2,974	909
50	56,298	17,000	8,097	2,250			63	57,699	19,110	8,756	2,775	2,963	920
51	57,535	17,556	8,369	2,343			平成1	57,466	19,293	8,679	2,792	2,950	930
52	57,987	17,908	8,492	2,387									

## ◎参考

- 注1. 小坪地区の年代比較をするとS40～45では亀が岡の新築ラッシュもあって人口、世帯とも急増、人口ではS.50、世帯ではS.48でそれぞれ倍増している。
- 注2. 小坪、小坪1丁目人口、世帯の空欄は、国勢調査時以外は丁以下の数字がつかめない。また1丁目と住居表示が変わったのはS42.5月からである。



宅地造成直前の亀が岡（白の円内）

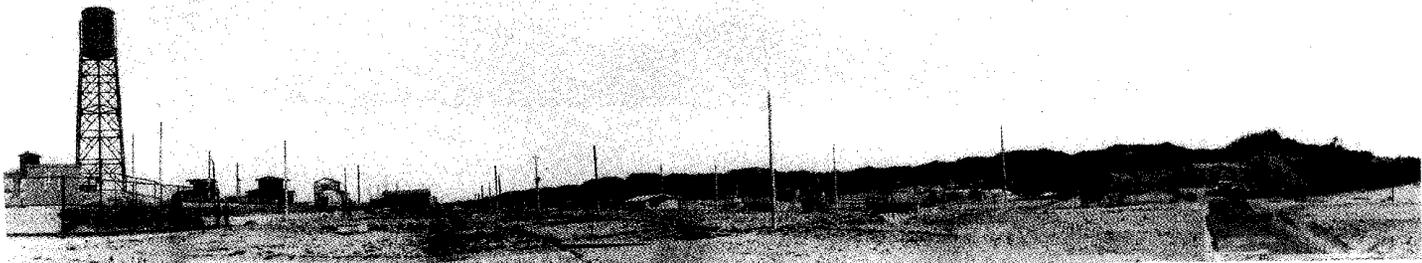
海に面した市街地は鎌倉、材木座。白く見える部分は開発中の光明寺団地（昭和38年）（小坪小学校提供）

# 資 料 編

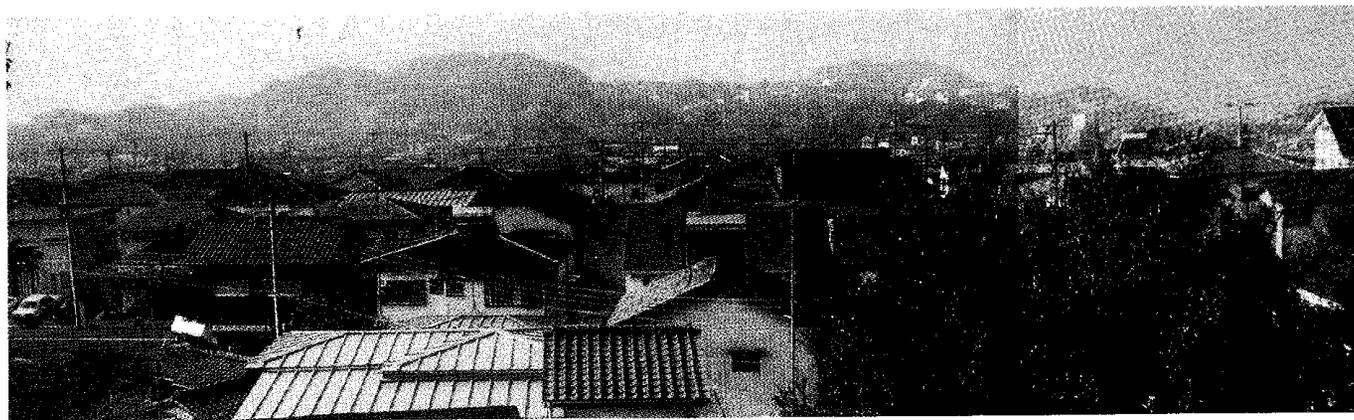
## 亀が岡世帯数の推移と ——自治会班編成——

年 度	基 準 日	世 帯 数	班 編 成	備 考	年 度	基 準 日	世 帯 数	班 編 成	備 考
	月 日	世帯	班			月 日	世帯	班	
昭和41年	4・17	135	12	(会費納入数より推定)	昭和53年	2・19	622	20	
"	12・1	170	12		"	6・1	628	21	
42年	7・1	205	16		"	11・1	635	21	
43年	2・10	244	17	(第1班を二つに分けた。)	54年	3・15	635	21	
"	7・1	271	17		"	6・10	637	21	
"	12・14	287	17		"	11・1	636	21	
44年	5・20	329	17		55年	3・1	636	21	
"	11・20	356	18		"	6・1	634	21	
45年	2・11	370	18		56年	3・1	639	21	
"	5・20	398	18		"	6・1	643	21	
"	10・25	412	18		57年	2・1	649	21	
46年	4・5	427	18		"	6・1	653	21	
"	7・1	442	18		58年	2・1	650	21	
"	12・1	471	18		"	6・30	653	21	
47年	3・31	481	18		59年	2・15	657	21	
"	9・7				"	6・30	657	21	
48年	3・30	516	18	(48年10月1日より	60年	2・28	661	21	
"	8・23	534	18	第16班を16と19に	"	6・10	644	21	
"	12・21	541	20	第12班を12と20に分けた)	61年	3・1	650	21	
49年	3・30	545	20		"	6・10	651	21	
"	9・25	557	20		62年	2・14	670	21	(1月、名越坂の6世帯入会)
"	12・22	571	20		"	8・31	679	21	
50年	3・1	573	20		63年	2・29	677	21	
"	6・10	573	20		"	9・20	670	21	
"	8・1	584	20		平成元年	3・1	676	21	
51年	2・1	598	20		"	6・1	679	21	
"	5・5	606	20		"	9・1	677	21	
52年	1・10	599	20		"	10・15	677	21	
"	6・4	607	20		2年	1・25	684	21	
"	11・1	615	20						

自治会費の推移   ▷昭和40(1965)～42年＝年2,000円▷43年～55年＝1,800円  
                           ▷55年～59年＝2,400円▷60年～＝2,600円



水道タンクが象徴的な草創期の亀が岡＝昭和40年4月2日



披露山をのぞく亀が岡＝平成二年二月

貴重な写真のご提供  
ありがとうございました

この25周年誌の製作に当たり、次の2団体  
と14人の方から貴重な写真を提供していただ  
きました。ありがとうございました。

〔団体〕市、小坪小学校〔個人〕飯田宗夫

幾井正明 石沢宏幸 石塚ハツエ 今村正治  
小野武八郎 近藤健二郎 鷺原昭男 土持和  
雄 平林徳也 宮田照 村上弥光 芳垣 男  
松本恭輔 (敬称略)

あとがき

亀が岡の先駆者であった、かつての若者達も、高齢者の仲間入りをしようとしている。四半世紀、25周年、早いものである。

佐藤会長が記念誌を発案され、初会合もつたのは昨秋。はじめての会合の夜、帰路につくと二子山に仲秋の月があった。月は幻想より、より現実のものとなったが、地球上の歴史をじっと眺め続けているような畏敬の念にとらわれ、「ヤラネバナラヌ」とたずさわらせていただく者の宿命を覚えた。

25周年誌の骨子は、とくに初期のパイオニアとしての苦勞がにじみでている亀が岡通信第1号にはじまり、「かめがおか」62号までをメインとし、歴代会長や関連の方がたへの取材を加え、肉付けをした。一方、皆さんからご提供いただいた貴重な資料、写真がここに生き返って素材に彩りをそえた。さらに市、警察、消防、小坪小をはじめ関係各位のご協力を賜り、感謝申し上げます。

われわれ委員は、それぞれ本業をもつ故に時間が十分でなく、そのため、とくに数字、年次などウラを取る時間、資料の照合などの不備はまぬかれない。お詫び申し上げますと共に、この25周年誌は、亀が岡史の出発点であり、皆さんからのご指摘、ご叱声によって検証され、はじめて、亀が岡人の歩みかといえられ、意味をもつ。

やがて十年を経れば二十一世紀。地上での変化は加速するであろう。しかし、変わらぬ季節と自然のめぐみが亀が岡にふりそそぐことを祈りつつ、これからも相たずさえて、明るい住みよい街づくりに努めよう。(板津)

◇25周年誌編集委員

霜山富士夫(一班)  
板津 直成(七班)  
小沢 健一(八班)  
杉本代八郎(十八班)